



平成28年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成28年10月27日

上場会社名 株式会社enish 上場取引所 東
 コード番号 3667 URL http://www.enish.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 安徳 孝平
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長 (氏名) 高木 和成 TEL 03(6447)4020
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年12月期第3四半期の業績（平成28年1月1日～平成28年9月30日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年12月期第3四半期	3,785	△9.7	△255	—	△293	—	△365	—
27年12月期第3四半期	4,192	△13.1	△793	—	△802	—	△1,221	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年12月期第3四半期	△48.95	—
27年12月期第3四半期	△175.96	—

(注) 平成27年12月期第3四半期及び平成28年12月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失金額であるため、記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年12月期第3四半期	2,125	1,661	78.1	212.80
27年12月期	2,253	1,619	71.6	224.35

(参考) 自己資本 28年12月期第3四半期 1,659百万円 27年12月期 1,612百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
28年12月期	—	0.00	—	—	—
28年12月期（予想）	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

平成28年12月期の配当予想につきましては、現在未定であります。

3. 平成28年12月期の業績予想（平成28年1月1日～平成28年12月31日）

平成28年12月期の業績予想につきましては、現時点で合理的な業績予想の算出ができないことから記載しておりません。なお、当該理由等につきましては、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(2) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年12月期3Q	7,800,800株	27年12月期	7,187,880株
② 期末自己株式数	28年12月期3Q	－株	27年12月期	－株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年12月期3Q	7,464,116株	27年12月期3Q	6,940,845株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(1) 経営成績に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第3四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間における我が国経済は、年明けからの円高・株安を受け足踏みが長期化しておりますが、公共投資の進捗の支えや消費税増税延期を背景に緩やかな持ち直しが期待されます。

当社の事業領域である、モバイルゲーム事業を取り巻く環境につきましては、引き続きスマートフォンの契約数は順調に推移しており、また国内モバイルゲーム市場においても成長率の鈍化はみられるものの、ネイティブアプリケーション（注）を中心に今後も拡大していく見通しであります。

このような事業環境の中、当社では当第3四半期累計期間においては、既存タイトルに関しては、ゲーム内の施策を強化及び運営品質の改善、プラットフォームの追加等を行い、引き続き売上収益に貢献しております。新規タイトルにつきましては、平成28年1月にリリースいたしました「12オーデインズ」が累計150万ダウンロードを突破し、プロモーションの強化及び大型コラボレーションの実施等により売上高が好調に推移いたしました。さらに運営体制を強化していくことで今後の収益寄与が期待されます。また、平成28年7月に株式会社バンダイナムコエンターテインメントが配信を開始した「仮面ライダー バトルラッシュ」において開発協力を行っております。当事業年度においては、引き続き厳選したタイトル数でクオリティの高いネイティブアプリケーションの開発・サービスの提供を行ってまいります。

また、AR (Augmented Reality:拡張現実) 技術を活用したトータルソリューションの企画において、独自のARエンジンの開発・提供を行うKudan株式会社と業務提携を行いました。両社は今後、それぞれの開発・技術力やノウハウを融合し両社の強みを活かすとともに、快適な新しいユーザー体験の創出を目指して、AR技術を活用したサービス、トータルソリューションを共同開発してまいります。

前事業年度から引き続き実施しているコスト管理施策の効果もあらわれ、積極的なプロモーションを実施しているなかでも、前事業年度と比較しても利益水準が改善しております。引き続きコスト管理を厳密に行ってまいります。尚、第2四半期会計期間において、コスト管理施策として本社の賃貸借契約を一部解約し、減損損失の計上を行っております。

この結果、当第3四半期累計期間の業績は、売上高は3,785百万円（前年同四半期比9.7%の減少）、営業損失は255百万円、経常損失は293百万円、四半期純損失は365百万円となっております。

（注）ネイティブアプリケーションとは、特定のコンピューターの機種やOS上で直接実行可能なプログラムで構成されたアプリケーションソフトウェアのことをいいます。

(2) 財政状態に関する説明

（資産）

当第3四半期会計期間末の流動資産につきましては、前事業年度末に比べて79百万円減少し、1,631百万円となりました。これは主に、現金及び預金の増加（前事業年度末比45百万円の増加）があった一方で、売掛金の減少（前事業年度末比70百万円の減少）及び法人税等の還付による流動資産その他の減少（前事業年度末比54百万円の減少）によるものであります。固定資産につきましては、前事業年度末に比べて48百万円減少し、494百万円となりました。これは主に、本社の賃貸借契約を一部解約したこと等による有形固定資産の減少（前事業年度末比89百万円の減少）があった一方で、サテライトオフィスの賃貸借契約等による敷金及び保証金の増加（前事業年度末比58百万円の増加）によるものであります。

この結果、総資産は、前事業年度末に比べ128百万円減少し、2,125百万円となりました。

（負債）

当第3四半期会計期間末の流動負債につきましては、前事業年度末に比べて141百万円減少し、427百万円となりました。これは主に、短期借入金の減少（前事業年度末比132百万円の減少）によるものであります。固定負債につきましては、37百万円（前事業年度末比28百万円の減少）となりました。これは、資産除去債務の減少によるものであります。

この結果、負債合計は、前事業年度末に比べ169百万円減少し、464百万円となりました。

（純資産）

当第3四半期会計期間末の純資産につきましては、前事業年度末に比べて41百万円増加し、1,661百万円となりました。これは主に、新株予約権行使による資本金及び資本剰余金の増加（前事業年度末比412百万円の増加）があった一方で、四半期純損失の計上による利益剰余金の減少（前事業年度末比365百万円の減少）によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年12月期につきましては、引き続き既存ブラウザタイトルの売上減少の制御を行い、また新規タイトルにつきましても運営体制を強化し、安定した収益基盤の構築を努めるとともに、クオリティの高い新規ネイティブアプリケーションの開発を行ってまいります。

従前、通期の業績予想を開示しておりましたが、モバイルゲーム市場の取り巻く環境の変化が激しく、当社の事業も短期間に大きく変動する可能性があること等から、信頼性の高い通期の業績予想数値を算出することが困難となっているため、決算業績及び事業の概況の速やかな開示に努め、業績予想につきましては開示を見合わせます。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第2四半期会計期間に適用し、平成28年4月1日以降に取得する建物付属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第3四半期累計期間において、四半期財務諸表への影響額はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年12月31日)	当第3四半期会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	946,537	992,040
売掛金	588,126	517,245
その他	176,083	121,714
流動資産合計	1,710,748	1,631,001
固定資産		
有形固定資産	194,670	104,881
無形固定資産	20,946	42,627
投資その他の資産		
敷金及び保証金	278,014	336,833
その他	79,090	85,090
貸倒引当金	△30,000	△75,000
投資その他の資産合計	327,104	346,923
固定資産合計	542,721	494,432
資産合計	2,253,470	2,125,434
負債の部		
流動負債		
買掛金	106,344	94,650
短期借入金	298,000	166,000
資産除去債務	-	28,871
その他	164,076	137,489
流動負債合計	568,420	427,011
固定負債		
資産除去債務	65,628	37,315
固定負債合計	65,628	37,315
負債合計	634,049	464,327
純資産の部		
株主資本		
資本金	962,897	1,169,245
資本剰余金	961,897	1,168,245
利益剰余金	△312,164	△677,501
株主資本合計	1,612,630	1,659,989
新株予約権	6,790	1,117
純資産合計	1,619,420	1,661,107
負債純資産合計	2,253,470	2,125,434

(2) 四半期損益計算書
(第 3 四半期累計期間)

(単位 : 千円)

	前第 3 四半期累計期間 (自 平成27年 1 月 1 日 至 平成27年 9 月 30 日)	当第 3 四半期累計期間 (自 平成28年 1 月 1 日 至 平成28年 9 月 30 日)
売上高	4,192,989	3,785,597
売上原価	4,161,743	3,248,361
売上総利益	31,246	537,235
販売費及び一般管理費	824,278	792,243
営業損失 (△)	△793,032	△255,008
営業外収益		
受取利息	244	112
事業譲渡益	—	8,280
その他	1,668	3,203
営業外収益合計	1,912	11,595
営業外費用		
支払利息	1,769	2,148
貸倒引当金繰入額	—	45,000
その他	9,720	2,687
営業外費用合計	11,490	49,835
経常損失 (△)	△802,610	△293,248
特別損失		
減損損失	8,640	70,371
関係会社株式評価損	10,089	—
事業整理損	139,933	—
特別損失合計	158,663	70,371
税引前四半期純損失 (△)	△961,274	△363,619
法人税、住民税及び事業税	1,717	1,717
法人税等調整額	258,322	—
法人税等合計	260,040	1,717
四半期純損失 (△)	△1,221,314	△365,337

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、当第3四半期累計期間において、新株予約権の行使請求に伴い新株式612,920株の発行を行いました。この結果、当第3四半期累計期間において資本金及び資本準備金がそれぞれ206,348千円増加し、当第3四半期会計期間末において資本金が1,169,245千円、資本準備金が1,168,245千円となっております。

(セグメント情報等)

当社は、モバイルゲーム事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。